

基本目標 3 活気・賑わいを生むまち



- 市民・団体・企業・行政の総力で地域の魅力を向上し、賑わいと活力を創出します
- 市民に愛され、市外在住者からも選ばれる「社会増減ゼロ」のまちを目指します
- 歴史・文化・ものづくり・食などの多彩な地域資源を活かした観光振興により、地域を活性化します
- すべての人がスポーツを楽しめる環境を整備するとともに、スポーツによる地域の賑わいを創出します

基本目標 3 活気・賑わいを生むまち

3 - 1

重点政策

市民・団体・企業・行政の総力で地域の魅力を向上し、賑わいと活力を創出します

■ 府中市の強み

- 府中市街地には、備後国府の置かれた時代から人や物の集積地として歴史を重ね、近代産業の発展とともに歩んだ家並みが残されており、本物の歴史に裏打ちされた「レトロ」な町並みと未来に繋がる「ものづくり技術」の近代産業が共に息づいているという他の市町にはない個性があります。
- 上下地域では江戸時代に代官所が置かれ幕府直轄地として繁栄し、石州街道を通じて周辺地域の特産物の集散地として賑わった“白壁の町並み”が残され、豪商の名残と周辺には日本の原風景を感じることができます。
- 備後国府跡、旧芦品郡役所や恋しき、翁座(木造芝居小屋)など全国でも希少な歴史的な建造物・文化遺産を有しており、古くから本市が政治・文化、産業・金融の中心であったことが伺えます。
- まちなかからわずかに移動するだけで田園や自然があふれる川辺や山々に出会い、さらにもう少し移動すると海や山にも触れあえる多様性があり、また、中核市、観光都市、高速道路、空港、新幹線駅へも1時間圏内という近接性があります。
- 市民の中には、まちの活性化や地域のネットワークづくりを志して行動を起こす“いこる”プレイヤーが数多く存在し、いろいろな地域や様々な場面で活躍しています。
- 道の駅びんご府中、キテラス、府中市こどもの国等の施設を活用し、地域の魅力を発信し、賑わいを創出しています。
- コミュニティ・スクールを全校で実践し、学校と地域、企業が一体となって本市の宝である子供たちの育成に取り組んでいます。

■ 府中市の現状・課題

- 府中駅周辺をはじめ市内中心部では、賑わいの原動力となる若者・女性・子育て世代などの滞留回遊が少ないことから、市内市外から多くの人を惹きつける新たな魅力を創造していくことが求められています。
- 中山間地域においては、高齢化の進行や人口減少等により、生活機能や伝統文化の維持や存続が危ぶまれる地域があり、医療や福祉をはじめ生活交通など様々な日常生活の課題が深刻化しています。
- 市民共有の財産である歴史文化遺産(資源)を保全し将来につないでいくとともに、人を惹きつける魅力を高め活用することで、歴史的価値を多くの人に広く伝える取組が必要です。
- NPOをはじめ多くの‘志’をもったリーダー、プレイヤーがいるものの、必ずしも相互の情報共有や連携が十分とはいえません。

基本施策と方針

1 賑わいを呼び込む新たな都市魅力の創出

- 人口減少下においても変わらない府中市の持つ本物の個性・価値・強みを重視し、市民が暮らしやすさと誇り愛着（シビックプライド）を感じ、市内外から多くの人々が府中を訪れ活動し住みたくくなるような中心市街地のランドデザインを描き、20～30年後を見据えた“古さ”と“新しさ”が融合するリノベーションのまちづくりを進めます。
- はじまりの広場～備後国府跡周辺エリアでは史跡の現地における保存を前提とした公園やガイダンス施設等の整備と活用、出口地区～本町商店街周辺エリアでは石州街道を軸とした近世から明治大正昭和と連続したレトロでノスタルジックな景観を基調とした空き家・古民家再生などの取組、府中駅周辺エリアや府中市こどもの国～芦田川周辺エリアでは、既存の商業機能や集客拠点を活かした先進的な魅力を創出していきます。
- 市民共有の財産であり府中市の発展、経済興隆の象徴でもある恋しき、旧芦品郡役所庁舎の維持保全と活用、府中市の成り立ちの原点である備後国府跡の調査・研究・整備・活用を計画的に進めます。
- ローカル5G、ドローン、ものづくりの技など府中ならではの長を徹底的に伸ばしていきます。
- 人を惹き付ける魅力として、“常になにかが巻き起こっている(コト起こし)”という状況をつくることも大切であり、“いこる”人材のネットワーク化・ハブ(拠点)づくりを進めます。
- 中心市街地の周縁部では、生活利便性を高めるための生活環境整備を進めます。

主な取組内容

- 芦田川の河川空間の整備と利活用促進
- ウォーカブルなまちなか形成の推進
- 歴史・文化遺産（資源）を活かしたまちづくりの推進
- 市民・各種団体・企業・行政の交流促進
- 持続可能な中心市街地の整備 など

2 中山間地域の活力創出

- 今日の生活定住基盤・産業基盤である高速情報通信網の市内全域整備を完成させるとともに、“田舎にいても全国世界とつながる”5GやIoT、AIなどのICT技術を活用したサービス向上や生活課題の解決、新たなビジネスチャンスの創造を加速させます。
- 中山間地域の基幹産業である農業の振興を図るため、「農業振興ビジョン」を新たに策定するとともに、農家民泊や教育旅行などの体験観光、ICTを活用した農業ビジネスなど「農」の持つ魅力や可能性を追求します。
- 生活利便性がある中心部から、わずかに移動するだけで豊かな田園や自然に触れ合えるという他都市にはない立地特性を活かし、高速情報通信網の整備と空き家・古民家や遊休施設を活用した、オフィスや関係人口の誘致、移住者の獲得を進めます。
- 地域の活力を生み出す原動力は「人」であり、地域で頑張っているリーダーの育成支援、ネットワークづくり、自らの創意で地域づくりに取り組むための仕組みづくりや後押しを進めます。
- “白壁の町並み”、翁座（木造芝居小屋）をはじめ近世～近代由来の景観と日本の原風景ともいべき周辺の中山間地域をあわせた上下地域全体を通じた統一的な魅力創出を進めます。

主な取組内容

- 地域を担う人材の育成・交流
- 地域資源の活用支援
- 高速通信基盤整備
- 農家民泊、教育旅行等の体験観光
- ICTを活用した農業ビジネスの推進 など

基本目標 3 活気・賑わいを生むまち

基本施策と方針

3 計画的な土地利用の推進

- 人口減少社会に対応した都市計画や規制の見直し等により、必要な地域に必要な資源が効率的に配置されることによる土地の有効活用を推進します。
- 日常生活に必要な機能の集約により拠点性を高めるとともに、日常生活や子育てと仕事の両立が可能な居住環境の形成を図るなど、誰もが暮らしやすく、働きやすい環境をつくり出します。

主な取組内容 ●立地適正化計画の推進 ●都市農地の保全・活用事業の実施
●民間参加を可能とする公園の環境整備 など

4 持続可能で利便性の高い都市・交通基盤の構築

- 市民生活の向上のため、都市計画道路、県道等の基幹道路をはじめとした道路整備を推進することで、安全・安心なネットワークを構築するとともに通勤時における渋滞緩和等を目指します。
- 便利で快適な暮らしや交通事故の削減に寄与するよう、地域の課題に応じた道路整備を進めるとともに、学生が安全に登下校できる交通安全プログラムを推進します。
- 自動運転やAI、ICTを活用した交通システムを取り入れることで、多様なニーズに対応した高率的で安心、安全な交通社会を目指します。
- JR福塩線、路線バスや市内巡回バスの接続を改善することで、JR府中駅や道の駅を拠点とした利便性の高い公共交通網の充実を図ります。
- 利便性の向上による公共交通の利用者を拡大するため、JR府中駅や駐輪場、駐車場等周辺の施設整備を進めます。
- 長寿命化の視点にたち、老朽化する市内の生活道路、橋梁を計画的に点検・改修し、適切な維持管理を図ります。

主な取組内容 ●効率的な公共交通体系 ●ICTを活用した交通社会の構築 ●府中駅周辺の整備
●県道府中松永線（南北道路）の推進 ●国道486号の充実
●道路・橋梁の長寿命化 ●幹線道路及び自転車・歩行者道の整備 など

関連計画

ランドデザイン／産業振興ビジョン／観光振興ビジョン／都市計画マスタープラン／立地適正化計画／公共交通網形成計画／強靱化地域計画／舗装長寿命化修繕計画／橋梁長寿命化修繕計画／道路整備プログラム



3 - 2

重点政策

市民に愛され、市外在住者からも選ばれる「社会増減ゼロ」のまちを目指します

■ 府中市の強み

- 「ものづくりのまち」の中に、大企業だけでなく、それぞれに技術を持った個人事業主が散在していることから、持っている技術とその担い手が多岐にわたっています。
- 大企業から中小企業、個人事業主に至るまで、就労の受け入れ先が多様に存在します。
- 人口動態を見ると、「25～29歳」の転入超過が続いており、若い世代の就業等による転入が影響していると考えられます。またこれは、広島県平均と比較しても高い値となっています。
- 都会生活者を中心に増えている、居住自治体とは別の地域でまちづくりや産業に共感し、その地域での活動に参加する人（関係人口）との関わりが重要となっていますが、こうした人を市内のNPO等が中心になって呼び込む取組が行われており、活動に参加する人が増えています。
- 海外に工場拠点をもち企業本社があり、市内企業・法人では外国人人材の雇用が進んでいます。

■ 府中市の現状・課題

- 20歳代の男性が県内市町へ、20歳代の女性が県外へ転出する傾向があり、その層に選ばれるための取組により社会増減を解消させる必要があります。
- 市内に大学・専門学校等がないため、進学により知識やスキルを得るために若者がいったん転出する傾向が強くなります。卒業後の就職先や居住地としてふるさとを意識させる取組が必要です。
- 中小企業や個人事業主は大企業の下請けが多く、それぞれがもつ技術は熟練しているものの、分業により限定的です。B to Cを意識した場合、それぞれの連携、消費者ニーズを意識したスキルのブラッシュアップもしくは市外の人材や産業との連携が必要となります。
- 産業の持つ魅力や住みやすさを活かして、副業人材やワーケーションといった関係人口の関わりを増やす取組が必要です。
- 外国人とふれあう機会が少なく、外国人に対する理解が十分に進んでいません。
- 転出者が増加するとともに遠方からの移住者も増えていません。転出者数を抑制するとともに、市の良さをアピールして移住者数を増やす取組が必要です。
- 高齢化と人口減により、団体をまたいだプロジェクトの立ち上げや地域活動の持続におけるプレーヤーの確保が重要となっています。

基本施策と方針

1 市民に愛され、住みつけたい・帰りたくなるまちづくり

- 府中市で生まれ育った子供たちが、将来就職や企業を考えるとときに地元回帰を第一に考えるような土壌をつくるため、子供たちが地域・郷土に親しみ愛着をもつ機会を増やします。
- 市外に多く流出している若い世代が地元で住みたい、住み続けたいと思う、また親世代・祖父母世代が地元に戻ることを勧めたいようなまちを目指し、若い世代を中心にあらゆる世代が生活の質を実感できるような環境づくりを進めます。

主な取組内容 ●子育て支援、教育の充実 ●桜が丘団地販売 ●移住関係補助制度 ●親近補助制度 など

2 関係人口の獲得・拡大

- 「よそのもの」の発想が停滞しつつある地域や産業を活性化させる要素となりうることから、例えば商品開発や販路拡大にノウハウを持つ市外人材のアイデアを地元企業が取り込むことによるイノベーション（新たな切り口）を起こすため、市内のキーパーソンと関係人口が多様にかかわることができる機会をつくります。
- 短期滞在やデュアルライフというライフスタイルをもつ関係人口の特質に合った、テレワーク拠点やコワーキングスペース、市内人材との協働ができるハブ拠点を整備します。
- 市内のイベントやプロジェクトに関する情報を一元的に発信し、府中市との関わりを検討しやすい環境づくりを行います。

主な取組内容 ●市外の大学生等と連携したイベントの開催 ●ふるさと納税者に対する情報発信 ●地域おこし協力隊等の活用 ●市外者の関与による地域課題解決プロジェクト ●市外在住者の関与による地場産業課題解決プロジェクト など

3 移住者の獲得

- 子育てに優しいまちとしての特性を活かし、子育て世代、またこれから子育てを行う若者世代を中心に呼び込み、市外からの移住者獲得に繋がります。
- 移住検討者それぞれのライフスタイルにフィットする、住まい、仕事や生活に関する情報を発信することによりマッチングを図り、移住者を増やすことにより地域の活性化と賑わいに繋がります。

主な取組内容 ●包括的かつ一元的な移住関連情報の管理 ●移住関心者に対する情報提供 ●移住検討者に対する包括的相談支援体制 ●移住者に対する直接的・間接的支援 ●NEW 空き家バンクの運用 など

4 多文化共生社会の推進

- 地域の人と外国人が共に生活し、お互いが地域で活躍できる、住みよい環境づくりを行います。

主な取組内容 ●市内表示の多言語や優しい日本語使用、ピクトグラム表示等ユニバーサルデザインの推進 ●地域と外国人の相互理解を深めるための恒常的な取組（交流機会の創出・日本語教室） など

基本目標3 活気・賑わいを生むまち

3-3

重点政策

歴史・文化・ものづくり・食などの多彩な地域資源を活かした観光振興により、地域を活性化します

■ 府中市の強み

- 史跡備後国府跡、旧芦品郡役所、“白壁の町並み”、翁座(木造芝居小屋)など、府中の歴史と文化を今日に伝える文化財や、地域住民から愛される自然豊かなキャンプ場、登山道など、魅力ある資源が数多くあります。
- 名所・名勝の見物型から交流・体験型へと変化した観光ニーズに応えられるよう、上下町では海外からのツアー客にも対応したガイドによる観光コースづくりに取り組んでいます。
- 魅力的で特色のあるものづくり企業が集積しており、学校等からの希望に応じて工場見学を受け入れる事業者も数多くあります。
- 備後府中焼きは、ご当地グルメとして、市外・県外でも知られるようになっており、本市を代表する食の観光コンテンツとして広く認知されています。

■ 府中市の現状・課題

- 観光客数は長期的に見ると伸び悩んでおり、また、周辺地域からの来訪が多い一方で、県外や海外からの観光客を呼び込めていないため、遠くからでも訪れたい観光商品の開発・磨き上げや、近隣市町と連携した広域周遊ルートの設定など、観光客の増加を狙った取組が必要です。
- 観光客の滞在時間は短く、消費額も少ない状況にありますが、継続的に観光を推進していくためには、観光に関わる事業者や地域団体などが稼いでいくことが必要です。
- 市外や県外に向けて本市の観光情報は十分伝わっていないため、観光客のクチコミを意識しながら、Web やSNSを活用した情報発信に取り組むことが必要です。
- 外国人観光客に快適に滞在してもらうため、多言語化への対応や、Wi-Fi 設備、キャッシュレス化など、ICT 環境の整備や活用が必要です。
- 観光客が快適に利用できるトイレなどの受入環境の整備や、観光客を温かく迎え交流する「おもてなし」の機運づくり、観光人材の育成などの推進体制づくりを、総合的に進める必要があります。

基本施策と方針

1

選ばれる観光地づくり

- 県内外の人から府中市を観光の訪問先として選んでもらうため、地域団体等とともに、市内にある様々な地域資源を、他地域のものとの「違い」や「物語性」を際立たせることで観光資源として磨き上げるとともに、地域での暮らしぶりも垣間見えるような、住民が主体となったガイドなどでの観光客との「交流」を通じて、府中市ならではの魅力として楽しめる「ライフスタイルツーリズム」を推進します。
- 府中市を代表する地域資源である「歴史・文化」・「ものづくり」・「食」などを観光に活用しながら、「歴史まちづくり」や「グルメ」、「アウトドア」、「教育旅行」をテーマにした重点的な誘客に取り組むとともに、他の地域資源でも、どのような人に訪れてもらえるかを考えながら、地域団体や事業者等による商品づくりを支援します。
- 市外や海外の人々が訪れてみたいと思える「府中市らしい」プロモーションを web や SNS 等を活用しながら広く展開し、訪れた人に満足してもらい、クチコミしてもらうことで、「びんご府中ファン」を増やします。

主な取組内容

- 地域資源を活用した観光商品開発に向けたワークショップの開催
- 観光客のニーズを踏まえた新たな商品開発
- 歴史的価値を持つ建物の観光活用に向けた整備
- Web や SNS を活用した情報発信
- インバウンド等を狙ったプロモーション など

2

地域で稼ぐ観光の実現

- 長期滞在型の観光地づくりに向け、地域団体や地域産業等と連携しながら、満足度の高い観光商品や体験メニュー、お土産物などの開発を促進していくことで、「地域で稼ぐ観光」を実現します。
- 市民や企業、団体等が、新たな誘客に繋がる事業に挑戦できるよう、立ち上がりを支援します。
- 国内外からの観光客がストレスなく市内での観光を楽しめるよう、トイレ環境や公衆フリーWi-Fi、観光案内板など、受入環境の整備を進めます。

主な取組内容

- 地域団体と連携した体験メニューづくりへの支援
- 市外からの教育旅行の誘致
- 府中市独自のお土産ブランドづくり
- 観光チャレンジ補助金の創設
- 観光客が利用できるトイレ環境の整備
- 公衆フリーWi-Fiの設置 など

3

観光を推進する体制づくり

- 観光が経済成長を支える産業となることを目指し、市や観光協会、観光事業者のみならず、これまで観光に携わってこなかった市民やものづくり企業等に対しても、観光を振興することへの理解や参画を促進していく「インナープロモーション」を進めることで、「オール府中」での推進体制を構築していきます。
- 観光客からの目線で観光資源を磨き上げるとともに、体制の構築から活動まで一貫した支援を受けるため、専門性の高い外部人材を活用します。

主な取組内容

- 観光振興を通じた地域の活性化
- 近隣自治体と連携した広域周遊観光の推進
- ガイド等の観光人材の育成
- 地域おこし企業人・地域おこし協力隊の活用 など

関連計画

観光振興ビジョン／ランドデザイン

基本目標 3 活気・賑わいを生むまち

3 - 4

重点政策

すべての人がスポーツを楽しめる環境を整備するとともに、スポーツによる地域の賑わいを創出します

■ 府中市の強み

- 本市では、スポーツ推進団体として、多岐にわたるスポーツの体育協会・スポーツ少年団が活動しています。
- 自発的なスポーツ活動を通じた地域のコミュニティの活性化を目的とした「総合型地域スポーツクラブ」が設立され、スポーツ教室やスポーツイベントを通じた交流活動が展開されています。
- 府中市立総合体育館を中心にグラウンド、武道場など、各スポーツに応じた施設を有しています。
- 市民プールで活動するスイミングクラブによる国体など上位大会への出場、フットサルチーム「TAMS」による中国リーグへの出場など、ハイレベルなスポーツ活動も行われています。
- EV・ゼロハンカーレースやドローンレースなどオンリーワン、ナンバーワンの新しい分野のスポーツの取組が市内外から注目を集めています。

■ 府中市の現状・課題

- スポーツのもつ特性が、単に「する」だけでなく、「する」「見る」「支える」ことで皆がその価値を享受できるものへと変わってきている中で、市外から人々を呼び込み、賑わいを創出するため、観光やまちづくりとの融合、経済・地域の活性化、本市の知名度の向上を目指したスポーツ振興の取組が必要です。
- アーバンスポーツやeスポーツなど、新しい分野のスポーツが生まれており、これらを活用した地域振興や定着が求められています。
- 若い世代、働く世代で運動習慣がある人が少なくなっています。将来的なフレイル予防のためにもこの世代からの体力づくり、健康づくりが必要です。
- 東京 2020 オリンピック・パラリンピックによるスポーツ機運の向上を契機に、競技人口の拡大やスポーツ施設の充実を図り、地域を活性化させる取組とともに、障害者スポーツの推進等共生社会の実現に向けた取組が求められています。
- 一部体育施設では老朽化が進んでおり、十分な利用が困難となっています。また、市内の体育施設には芝生の上でスポーツが行える環境がなく、大会を開催できる施設環境の整備が望まれています。

基本施策と方針

1 スポーツを活用した賑わいの創出

- スポーツの持つ「する」「見る」「支える」特性を通じて、市内外から人を呼び込み、世代を問わず誰もがスポーツに親しめるまちの実現を図ります。
- 誰もが気軽に参加できるスポーツイベントやオンリーワンのイベント、市内外からの大会・合宿の誘致等によるスポーツツーリズムの誘客等を推進し、地域経済への波及効果を生み出すなどスポーツによるまちの活性化を図ります。
- スポーツによるまちの活性化の基盤となる、スポーツ施設等の整備・充実を図ります。

主な取組内容 ●各種大会・合宿の誘致 ●市民マラソン大会の開催 ●EV・ゼロハンカーレースの開催
●芝生グラウンドの整備 ●アーバンスポーツ、eスポーツの普及に向けた環境整備
●スポーツ×食、×観光、×ものづくり等他分野との融合やICT活用による魅力向上 など

2 スポーツを通じた健康づくり

- 市民がいつまでも健康で暮らしていくために、若い世代、働き盛り世代からスポーツ習慣や正しい生活習慣を身に付け、フレイル予防、生活習慣病予防に取り組める環境を整えます。

主な取組内容 ●スポーツ習慣づくり ●スポーツ教室の充実 ●フレイル予防の推進
●市民プール等スポーツ施設の整備・改修
●ウェアラブル端末等ICTを活用した健康増進 など

3 スポーツへの参画人口の拡大

- 性別、年齢、障害者の有無などにかかわらず誰もがスポーツに親しめる社会の実現を推進します。
- サンフレッチェ広島をはじめとしたプロスポーツチームや実業団等との交流や連携を強化することを通じて、スポーツへの興味・関心を高め、競技人口の向上を図ります。
- スポーツ環境の基盤となる多様な人材の育成と活躍の場の充実を図ります。

主な取組内容 ●スポーツ団体における女性登用促進 ●障害者スポーツの振興
●スポーツ施設のバリアフリー化 ●トップアスリートによる試合や教室の開催
●指導者、審判員、ボランティア等の育成 ●総合型地域スポーツクラブの充実 など

関連計画

スポーツ推進計画／観光振興ビジョン／健康ふちゅう 21

